

1. 天子とうざい妹
2. うざい耳かき
3. 耳なめ
4. お風呂でバツタリ
5. 手コキと胸触り
6. パイズリ・フェラとおまんこいじり
7. すまた
8. セックス
9. だらしなくてうざいセックス
0. おまけ。国語り

おいしい、ご飯できましたよお〜

ご飯できましたよお〜

お姉ちゃん。早く起きてくださいな。

ありやぐつすりですね。

はあ、夕べも内職が捗って遅くまで起きてたやつですね、こりや。
でしたらば。

お姉ちゃん、お姉ちゃん！ふふふう

あああ〜朝からお姉ちゃんのお布団〜幸せええ、うふふふう。

お姉ちゃん起こそうと思っただんですよちゃんと。

でもこんなに幸せそうに寝てるお姉ちゃん見てたら
そんな罰当たりなことできねえですわ。じゆるり。

はあ、はあ、さあさ絹と一緒に朝寝いたしましょう〓〓

はふ、はふ、はふ…はあー。

はふん！

なあにするんですかあ！

…姉妹水入らずお布団タイムを楽しみましょう？

え、起きるんです？

いやんいやん！もちつとゆつくり朝寝坊しましょうよお！

いっっちゃ嫌あ〜。

お姉ちゃん〜。妹はてこでもうごきませんよお〜。

んん〜えへへ。

お姉ちゃん、おはようのキス…してあげます。

あひっ！！

ただただ…妹をぞんざいに扱っちゃだめですよ。

うう、うう…起きるんですね。わかりました。わかりましたよお。

それではいただきます。

ねえねえ、絹の作ったお味噌汁どうですか？

ほんとですか！お嫁にしたいんですね！？

あざっす！あざっす！

あ…そこまで言っただけですか。ええはい。

でも、いつでも嫁になりますですよ。

そんな時がきたらおっしゃってくださいな。

はあむ…あむあむ。

そうそう、お国から例の通知書が来てましたよ。

お姉ちゃんもそういうお年頃ということですね…。

ちっ…なんでえ、

天子様だか神様なんだか知らねえが、

俺っちの姉ちゃんとまぐわろうなんて100年早えってんだ！

（成人すると国から天子との交わりの儀の招待状が届く

特に理由がないものは○をつけて出すのが通例

横流しや権利の譲渡は認められておらず違法）

なあにがお国のための子作りですか！

んなもんくそくらえです！ぺっ。ぺっ。

ま、私が適当な理由をつけて送り返しておきましたがね。ふんっ！
何か問題でも？

いえいえ。絹におまかせください。

絹の目が黒いうちはお姉ちゃんをわたしませんよお！

え、私に通知書が届いたらどうするのか？

決まっています。

そんなもん破いて焚火の火種にしてやりますとも。(重罪)
絹はお姉ちゃん以外考えられませんから。

2. うざい耳かき

あゝむ。はむはむはむ。あまーい。ふふ。
ふう、スイカは夏！これに限りますね。

風流ですね。ふふ。

はむ。はむはむ。んゝおいしい。
ぶっ、ぶっ。(種をはく)

はあゝ縁側でスイカ食べながらお姉ちゃんとお過ごし。
これぞ日本の夏の様式美です。ふふ。

そういや日本には、お姉ちゃんとお
あーんなことや、こーんなことをする
ドージンシとかいう
むふふ本があちこちで売ってるんだとか。

いやゝほんとですって。
私にとつちや天国みてえな場所です。
死んだら同人ショップとやらに
飛ばされてみたいですよ。

よつと。
さてきて、食べかす片づけちゃいましょうかね。

あ、お姉ちゃん、お昼寝ですか。いいですねえ。

いつもお仕事お疲れ様…。(ここだけ優しく)

おおそうだそうだ。こんな時には…へへ、
妹の絹がお姉ちゃんを癒してあげなければつ。
さささ、さささー。

えーつとどこやったかなあ。

アレ、アレはいづこー！んん。

ありや、ここじゃなかったっけなあ。

んー。ここでもないっ

ならば、あそこかああああ！！

すたすたすた！

ふふふ。ありましたー。ありましたぞー！、

さあさ、絹の膝の上へおいでどうぞ。んふふ。

よつと。

いやあ、ほんとに我ながら色っぽいお姉ちゃんですよ。

ふひひ。

んつと。ふふ。

ああ、あ、こんなに耳の中汚しちゃってえ。

ふふ。絹がないとほんとにダメなんですから。

んじゃ、耳元失礼しますね。

ん…ん。うーん。はあ、ふう…

お姉ちゃん…どーです？ふふ。

あ、返事しねえのは、眠いので話しかけないでってことですかね。
まあ、それならそれでいいですよ。

ん、ふう、ふう。はあ。ん。
よいしょ。よいしょ。

んー。ん。ふう。んー。
あ、あれあれえ？

いやあ、お姉ちゃん…これはひどいですよ。
もう一度言います。

これはひどい。ええ！

何がじゃねえです。

いくら目に見えないところだからって
おなごがこんな身の手入れをしないってのはないわあゝ。
あーないわあゝ。

もう、黙っててください！（ガチ怒り）
いまから絹がめっちゃ集中して
キレイキレイにしますからっ！

ん、と、ととと。ん、ここ、ここで、ほじほじ。
ほーじほじ。

くゝくるくゝと。まきとつて…かゝらゝの。
あゝ／＼これが愛しのお姉ちゃんの耳・ク・ソ♪

んん。すゝはあ、すゝはあ。
はあ、はあはあはあはあ。ちゆる。
うーん。無味無臭。

んふふ。冗談ですよ。
さすがの私でも、耳クソまではね。

ちり紙にくるんで、ぽいっちょ。あ、外した。まいつか。

ふふう。

あとで、こっそり回収しとこ…（小声）

さ、続き続き。

うーん。ん…ふう。んー。ふう。はあ。はあ。
んー。と。ととと。

（絹…吐息）

さっきはお姉ちゃんのことボロっカスに言いましたけど。
私、お姉ちゃんのそういうとこ…好きですからね。

ん、はあ、ん。しよ。んー。

絹はこう見えてお姉ちゃんに限らず、
誰かのお世話したりとか、面倒見たりとか
ありがとうっていつてもらったり
間近で笑顔が見られるつてのが嬉しいんです。

ぐるぐる。ぐるぐる。

あ！ここかっ！

ん。んん。あ、奥にいつちった。

だから、遠慮なくいろいろ言ってくださいね。

なんか最近…

お姉ちゃんが私と距離をとってるように感じるんです。

私があまりにもおねーちゃんスキーなので
そうなるのはしゃあないなあって思うんですが…

なんか寂しいです…。

言ってくれたらお背中とかも普通に流しますよ。

そうですか…。

なんかお姉ちゃんは頑なに絹との入浴を断りますよねえ。

あ、わかった。 ふひひ…

お姉ちゃん…おっぱいがちっちゃいの気にしてるんでしょ！
絹のほうがおっぱいでかいの気にしてるんでしょ。

いやあ、お姉ちゃんは誰もが認める美人ですが

胸！だけはないですからね！胸だけは！（胸！を力強く）

この前絹が寝てるお姉ちゃんの胸！こっそり揉んだ時も…

い、いひゃ！太ももつねらないでえ！

ああん、ああん//いたあい//（色っぽくうざく）

はあもお、なんだって絹がこんな目に。

お姉ちゃんの背中なんてながしてやらないですよーだっ！

はあ、ふう、ふう…ふう…ん、しよ。

ぐりぐり、おらおら、ぐりぐり…ふふふ。

仕返しですよ、

ん…ふう、ん…ううん…ふう。はあ、はあ…

ふう。こっちの耳はいいかしら。

最後に。

ふー。ふー。

ふー。ふー。

ん。これでいいです。ふふふ。

さ、反対の耳を綺麗にしましょつか。

頭あげてくださいな。んっしよ

ふう、こちらの耳もだいぶアレですね。

もおーお姉ちゃんほーんとしょうがないんですから。んふふ。

ん、しよ。

あゝ。汚いなあゝ。きつたねえなあー。

はゝ。ふゝ。はゝふゝ。ん。しよ。
んゝゝ。ふうゝ。

そのまま目とじてて大丈夫ですよ。

ん、しよ。んー。ふう。すー。すう。
ん、ふう、ふう。

あー。お姉ちゃんの耳…
舐めたらどんな味がするんかなあ。
ちよつと舐めてみようかしらねえ。

んはあっ！

お姉ちゃんたらみぞおちはいかんですよ。
うう。はあはあ、もお。

絹が丈夫じゃなければ、こんないいパンチ喰らったら昇天してますよお。

はあ、わかってます。ちゃんとしませう。
静かにしてりやいいんですよ。わかっています。

絹は静かにしてりや国一番の美少女でございますからね。

…うう…なんか突っ込んでくださいよ。

くう。見てなさいよ。

超絶静かな絹の耳かきを味あわせて、眠らせてやるんですからっ！

ん、ふう、ふう、ふう。

はあ、はあ、はあ、ん、ふう、ふう。

はあ、はあ、ん、と。こりこり…こりこり…

はあはあ、ん、しよ。ん。しよ。

はあ…はあ、はあ、はあ、あ…あ…

あー。あー。いかん。喉が、喉が…
あ、ああああああああ！

いや、なんか喋ってないと寂しくって、寂しくって
気が狂いそうになります…

お気になさらずリラックスしててください。
ほーら、眠くなーる。眠くなーる。

はあ、はあ、はあ…

ふう、ん、んつとと。ほじほじ。あー。こうなってる。
こうなってるのね。あーああ、なるほど。

それで、それで、あ！ああ！ まじですか、こんなこんな…
あわ、あわ、あわ…

落ち着こう。絹！落ち着くのだ！

すうー、はあー。すうー。はあー。

再開っ！！ 進軍開始！

ん〜。と

あわわ…あわわ…、それで。ここをほじると…

あわあわ… そうなのかー。そうなんかー。

はあはあ、ん、はあ、はあ…

一人で黙っていると寂しくて死にそうですよお。

お姉ちゃんも何か喋ってくださいよお。

つれませんねえ…

あつれれ〜？もすいかすいてえ〜（もしかして）

今ならお姉ちゃんの周りの空気を合法的にすうはあできるチャンス？
すううううう…はあああああ、ぐはあっ！（パンチ）

げほっ、げほげほ…

死ぬ、死ぬ…はあ、はあ。

わかりましたよ。

素直に耳掃除させていただきます。

ん、ふう、はあ、はあ。

ん、こりこり…こりこり…

ん、こりこり。かきかき。ふう、はあ、ふう、はあ。

ん、しよ。んー。しよ。こりこり…ふう、ふう…

ね。お姉ちゃんは今年で成人でしたね…

家、出てくつもりはないんですか？

ええ。

うちはお母さんが奉公に出ててあんま帰ってこないですからね。

お姉ちゃんとイチャイチャできて私としては嬉しいんですが。

ん、はあ、はあ、ふう。ふう。

正直、私にや子供とか、天子様とのご縁だなんてよくわかんねえです。

女性は子供を授かって産んで、育てるのが一番幸せなんだとか。

どうにも難しくってね…。

それよりも。

絹はお姉ちゃんといちゃいちゃあまあますることに興味深々です。

えへへ。

ええ、正直です。絹はろくでなしの正直者です。

むふふ。お姉ちゃん…はあ、はあ、はあはあはあ…

うう、太ももをつねろうとするのはやめてください。

おしり触ってごめんなさいっ！

気をつけますのでやめてください。

ん、ふう、ふう。はあ、はあ。

んーしよ。んーしよ。

ぐるぐる〜ぐるぐる〜
んー。ふう。ふう。

よつと。

ふう、いっぱいとれてすつきりです。
こんなに。ペロリ…。

あ〜騙された〜！また騙された！ふふ！

はいはい。しますから。ちゃんしますから。

ん、ふう、ふう。

ん〜。ふう〜。はあ、はあ。ぐるぐる。ぐるぐる。

今晚のおかずは何がいいですか？
妹？まさかの妹ですか？ふへへ。
おねえ〜ちゅあああーん。へへへ…

はあ、はあ、はあ…ん…

あ〜、肉。肉かあ。

まあ最近節約してましたからね。
たまにはいいでしょう。

おお、今日一番の反応。
そんなに、お肉が食べたいんですか？
こ・の・食い・しん・坊・さん

さあさ、ふー。しますよ。ふう。

ふ〜〜。

ふ〜〜。

ふふ。これ、好きですか。

ではまた今度にしませよ。

お望みとあらば、お姉ちゃんのベッドで吹きかけてあげますよ。

はあ、つれませんね。ふふ…。

んー。ふう、ふう、ふう、ふう…

あー夏ですnee。

こういう日は川で水浴びでもするのがいいんですが、お姉ちゃんがあんま好きじゃないんですよnee。

んー、はあ、はあ、水着、見てえですnee。

お姉ちゃんの水着。

むちむちの太もも…じゆる…はあ、はあ。

ん、ふう、ふう。んー。

そろそろ寝た…かな？

耳なめ

お姉ちゃん？お姉ちゃん？

絹のお膝の上で寝るつてのがどーいうことか、
わかっておいでですね。

むふふ。

はむはむはむ。んちゅ。ちゅちゅ。

こんなことされちゃうんですよ //

ちゅ、ちゅ、ちゅ。んーちゅ。ちゅ。

はあ、あむあむあむ。はむはむ。

お姉ちゃん //

大好きですよ。

ちゅ、ちゅ。あむあむあむ…

お姉ちゃんは美人ですから…

国のお触れをサボったのバレたら
町で噂になってしまうかもしれないですよ。

ちゅ、ちゅ。ちゅ。あむあむ。

ちゅ、れろれろ…れろれろ…

だから不安だったんです。

そんな周りに言われるぐらいだったら、
大人しく国に従われるんじゃないかって…

ちゅ、ちゅ。ふう、はむはむ…んふふ。

あむあむ。あむあむ。お姉ちゃん //

れろれろ…れろれろ…

国の手紙を勝手に返信したのは、

絹が…不安だったからなんですよ？

お姉ちゃんは、誰かを好きになったことがあるんですか？

絹みたいに、恋愛ができないこの国で…時々…
もどかしくなったり、泣きたくなったりすること…
ないですか？

ちゅ、ちゅ、あむあむ。

れろれろ…れろれろ…はむはむ…ちゅ。ちゅ。

お姉ちゃん〱ちゅ、ちゅ。

絹は…お姉ちゃんがどこか遠くにいるような気がします。
天子様との交わりを楽しみにする女の子たちとも…
絹のような変わり者とも違う。

なのに、絹のことを拒絶をしない。
だから、絹は…

ちゅ、ちゅ、はむはむ…んちゅ。

あむあむ。あむあむ。…ちゅ。

反対の耳も、ください〱

あむあむ。あむあむ。お姉ちゃん…。

ちゅ、ちゅ。あむあむ…。はむはむ…

(絹…耳なめ)

ゆっくり休んでください〱

絹は、いつもそばにおりますよ。

ちゅ、ちゅ、あむあむ。ちゅ、ちゅ。あむあむ。

はむはむ。はむはむ…ふふ…。

耳たぶ、唇の跡が少しついてしまいました。
少し強く噛みすぎてしまったかも…。

もし、ここが日本だったら、私も、お姉ちゃんも

全然違う気持ちで、お互いを見てたんでしょか？

…お姉ちゃん〓

お姉ちゃん…ううん。

すー。すー。すー。

すー。お姉ちゃん…ううん。

4 お風呂でバツタリ

こちら絹。ただいまより特別ミッションを開始する
ターゲットはこの家の浴場で湯浴みをしている模様。

そうだ大佐。日本では同じ家に住まう者同士が
偶然を装って相手の裸を凝視するという尊い文化があるのだ！
さらにお風呂でばったりすると高確率でカップルになれる！
本当だぞっ！

はっ！ターゲットが動いた！
私も行動を開始する。

うおおおおお！！風呂おおお、風呂だあああ！！
すたすたすたすた！
とやあああ！！かちゃん！

おっしやーふろおー！！
おやおやおや！奇遇ですねお姉…ちゃん？

って！ちよつとおおお！
これはどういうことですかあああ！
なあんで当たり前のように服着てやがるんですかあああ！

ああん？浴室の中でいつも着替えてくるう？
何のための脱衣所だつっうのっ！！！！
ちったあまじめにやれっつてんですよおおお！

あ、あれ…もしかして、ものおっそい、怒ってらっしやる？
あはあ、あははははは。

さあ〜て絹は、晩御飯の支度せねば…
拙者、これにて、ご免っ！

げぶ〜。食べた食べた。

はあ〜あ。

結局お姉ちゃんの裸は覗けず仕舞い。

あれから何やら気まずい感じになってしまいましたよお。

なあ〜んであんなに裸を見せやがろうとしないんですかね。

ね？お姉ちゃん？

どして〜？絹見たいなあ〜。

お姉ちゃんの裸〜、見たいなあ〜。

いやいやだから詫びに来たんですよ。

可愛い妹の出来心でしたことじゃないですかあ。

許してくださいよお。

えへ〜お姉ちゃん、好き好きぎゅ〜。

お尻さわさわ〜。んふふ。

今晚は仲直りのしるしにここで寝ます〜。

うわあ〜／＼なんで出ていこうとするんですかあ。

いやいやいやしましよようよお。

絹はお姉ちゃんにゃんにゃんしたいんですよ！

わかりました。

大人しくしてますからあ！

今晚はいっしょに絹と寝てくださいよお。

え、まじでいいのっ？

ありがとうございますすう！

我が姉ながらちよれえのお。ふひひ…（小声）

んふんふ。じゃ、おとなりおいでください。
こーこ。絹のとなり。ほら。

えへへ。お姉ちゃん。

はふはふ、んん〜。

だっこー。だっこー。

えへへ。ぬくぬくです。はあはあ…。

はあ、はあ、す〜。す〜。

んふふ。温かい。お姉ちゃん…好きです。

お姉ちゃんは絹のこと好き？

んふふ。ありがとうございます。

嬉しいですよ。

お礼に頭よしよししてあげます。

よしよし…よしよし…

ふふ…いーじゃありませんか、こういうのもたまには。

ね。お姉ちゃん…

せつかくですから。

絹のとりとめのないお話聞いてくれますか？

あのですね…

この国じゃあつちをむいても、そつちをむいても、
自分と同じ女の子しかいませんよね…。

お友達も、親戚も、学校の先生も、お店の人も…
みんなみんな女。

だから私たちは恋をしない。

しないことになっている…。

そんな感情は認められていません。

男が全然生まれないこの国では

天子様の子を産んで、国の維持・繁栄を願うのが当たり前。

皆それを疑わず、天子様の子をお腹に宿すことに執心している。

生き物として、それは至極全うで理に適っています。
だから私たちは自分の父親の顔すら知りません。

天子様とお会いするのは、まぐわる一瞬のみですから。
そして仮面をつけたまま夜の営みが行われる…

自分の親の顔どころか子を
宿す大切な相手の顔すら知らぬまま一生を過ごすのです。
そんな滑稽なことがあるものでしょうか？

絹は知っています。
人と人。つまり女の子同士が隠れてまぐわっていること。

それがばれたところで罪には問われませんが
生きる価値がないものと烙印を押されてしまいます。

この国では子供を産んだ人が優遇されていい仕事、家を与えられます。

反対に子供を産まない、産めないろくな仕事も与えられず、蔑まれ生きていく。
でも、人として果たしてどちらが真つ当なんでしょうね…

日本で国では男の子も女の子も半々いるらしいです。

女の子は皆、男の子を好きになって
恋をして、愛し合って子供を産むらしいです。

おとぎ話ですが、素敵ですよ。

お姉ちゃん…。お姉ちゃんは
誰かを好きになったり、考えたり、苦しくなったり…
そういうことはないですか？

絹は…お姉ちゃんが色事に興味がないとは思えないのです。
そばにいてそう感じるのです…

優しくて温もりのある…絹と同じ…同じ目をしている。
こうしてそばにいと、ドキドキして…
だから、本当は絹のことを。と…思ってしまうのです。
はあ、はあ…

ねえ、お姉ちゃん

もしお身体を慰めになられるなら、
絹にお手伝いをさせただけませんか？

隠れてなら…大丈夫です。絶対誰にも言いません。

お母さんにも内緒です。

お墓に入るまで二人の秘密にしませんか…？

お姉ちゃんの身体、

絹に触れさせてはいただけませんか…？

え、お姉ちゃんからも私にお話がある？

なんですか…

はい…お母さんに聞いてます。

私もお姉ちゃんも、拾い子だって。

だからほんとの姉妹ではないことも…知っています。

なんですか？

こちらを振り向いても…

はい。もちろん。こつちを見てください…

ん、はあ、はあ。お姉ちゃん…

あ…

あのお姉ちゃん…

私の鼠径部に何かあたってますよ…

随分気が早いです…

は、はい、握って差し上げます。

ん、ん、あれ。指ですか？随分と太いような…柔らかいような。

このまま布団をどけると？

ええ、いいですよ。

お姉ちゃんの身体、絹にじっくりと見せてください

せーの。

ん、んっ。

え？生えてる？

な、な、なんじゃこりゃああああああ！！！！

すー。ふう。

すいません、騒いでしまつて。あまりにも衝撃的過ぎて。

それは…男のアレ的なアレですよ。

ええ、一応存じます。

本で読んだ程度で実物は初めてですけど…。

でも、なんでっ！

…普通は助産院から国に引き取られるはずじゃ。

って聞いても、お姉ちゃんにはわかりませんよ。

そっか。

だからお母さんはお姉ちゃんを引き取って、

女の子として育てたんですね。

あんな頑なにお風呂を拒んでいた理由も…。

なんだか、思っていた男の人のイメージと全然違いますね。

アレがついてる以外、ほとんど女性と変わらないし…

むしろ私よりもお綺麗ですよね…？

やっぱり『天子』ってだけあって

神様に選ばれた人なんですかね。

ひゃ。お姉ちゃん〱

ごめんなさい、そんな特別視したつもりはなかったのですが〱
はい〱気をつけます〱

そうなるとお姉ちゃん…って呼ぶのは
なんか違和感がありますね。

でも、この国には男のお姉ちゃんの呼び方ってないし…。

え、なんです？

というわけだから、ごめんねって。

あれ、どこへ行くんですか？

待って！！

はあ、はあ〱

お思いですか？

…お姉ちゃんの正体を知って、絹が引くとお思いですか？

5 手コキと胸揉み

お姉ちゃんこれ…

おちんちんていうんでしょ。

こんなふうになってるんですね。うふふ。

ダメです。いけないでください…//

絹のことを信頼してくれたから見せてくださったんでしょ。

本当は絹に触れてほしくて、わかってほしくて、

これを晒してくださっただんでしょ。

なら逃しません//

大丈夫です。絹はすべて受け入れますよ//

お任せください。絹はお姉ちゃんが大好きです。

女だろうと、男だろうと、お姉ちゃんが大好きですよ。

だから、今晩は絹がお姉ちゃんを気持ちよくしてあげます。

いいですよね？

はあ、はあ、おちんちん//

ぎゅ、ぎゅ、ぎゅ。はあ、はあ。

震えてる…可愛いです//

今、絹にわかったことがあります。

私を感じてたお姉ちゃんへの魅力…。

普通の子とは違う、「何か」

他の女の子にはない、「何か」にも惹かれていたんだって。

はあはあ、ねえねえ。ここ触るとどうなるんですか？

にぎられるとどうなっちゃうんですか？絹に教えてください…。

うわあ、また固くなって//

絹の手のひらの中でどんどん大きくなっていきますよ〓
気持ちいいですか？ 痛くないですか？

お姉ちゃん…絹はね、男だとか、
女だとかそんなことに興味ありません。
ありませんでした。はあ、はあ。

でも、実際目の前にすると、なんなんでしょうね、
この心の高ぶり。高揚感。

上下に動かしますよ。

はあ、はあ、しこしこ、しこしこ。ん、はあ、はあ、
自分ないものを持っているお姉ちゃんを見てると求めたくなる。

触ってみたくなる、

感じてみたくなる。はあ、はあ。

絹は、やっぱり女なんですね。ひひ。はあ…

ああ。欲しい、お姉ちゃん、欲しいです〓…はあ、はあ。

お姉ちゃんにいやらしいことをしたいです…。

はあ…絹は、ただお姉ちゃんが大好きなエッチな子なんですよ。

だから遠慮しないで…すべて見せてください〓〓

ふふ。また大きく…こんな固くされて…

握ると声を震え上がらせて、お可愛いです〓〓

お姉ちゃん…絹を抱いてください〓〓
抱きしめてください。

ん、あ、はあはあ…

はあはあ…そう。腕回して。触って

おっぱいも触ってください。

絹も振れてほしい…気持ちよくなりたいです…。

絹も、触ってさしあげてるでしょ。さあ触ってください。

ほら、お手を…どうぞ。

ん、あ、はあ、ん、そう、そうです…はあ、はあ。

お姉ちゃん〓お姉ちゃん〓絹…嬉しいです。

大丈夫です。はあ、はあ。もつと揉んでくださいな。
ん、あ、あ、はあ、お姉ちゃん〱気持ちいいです〱

絹ももつとしごいてあげますね。

しこしこ、しこしこ、ん、あ、はあん〱

しこしこ、しこしこ…

ねえ…ねえ…気づいてますか？

ここ、しこしこってされてるだけで、はあはあ…

子猫のように絹のこと上目遣いで見上げて、

もつと強く、強くって、ん、あ〱

そう思っておられる…

言わずともわかりますよ、はあはあ…

いつも以上にお姉ちゃんのお気持ち、
手に取る様にわかります。触れるだけでわかるんです…

はあはあ…ん、あ〱

このイチモツ…どうして差し上げるのがよろしいですか？

はあはあ…ただ触ってるだけで、よろしいのですか？

絹のこの柔らかい胸で挟まれたくないですか？

はあはあ…

それとも、小さな口の中に含まれ、舌で舐め回されたいですか？

あるいは…まだ絹の指しか入ったことがない、

このおまんこの中…

挿れてみたいですか？

はあはあ、んっ〱

ねえ…お姉ちゃん？

いつも、いつも絹のことをたしなめていましたが、

本当は、したかったんでしょ？

おっぱいの触り方でわかります〱わかるんです…

お姉ちゃんの触り方、目つき、吐息、

近くにいる空気感…言葉よりはるかに伝わるんです〱

ん、はあ、はあ。

お姉ちゃんとは14（じゅうし）の頃までは一緒に寝てましたがよくわからない理由をつけて距離をおかれましたよね？

…ん、ふう、はあ…

はあはあ…あ、あ//

私がどんなに強く添い寝を強請っても、
頑として曲げませんでしたよね？

はあはあ…ん//

自分が我慢できないと思ったから、譲らなかったんでしよう。

ふふ、その証拠に、ほら…

ここを握られるだけで、いつものように威勢よく注意できず、
震えてるだけじゃないですか？

あ、あん//んん//胸、また強く揉んで、ん、あ、
ん、あ、はあ、はあ、指先が、乳首をいじって、んあ、
着物の上からでも、勃つてるところが、はあ、んん//

したかったんでしょ、
絹とエッチなこと。

ほんとはしたかったんでしょ？はあ、ん、はあ。

なかなか素直にならないですね。はあはあ…
いいですよ。今日は絹がリードしてさしあげますから…

まずは絹の胸をつかってこれをしごいてあげます。
みたことないでしょ。妹の生まれたままの姿。

ふふ、絹は背は決して高くはないですが
お姉ちゃんの「それ」を包んで揉みしだくぐらい
胸があるんですよ…。

さあお姉ちゃんをこの胸で包んであげます。
ほら、横になったまま失礼しますよ。

うわあ、また大きくなってますね。

ふふ。これを今から絹の胸で…。

ドキドキします…

いきますよ。

ん、あ、はあ、はあ、んん、

ふふ、ほら。おちんちんが絹の胸の中に
すっぽり飲み込まれてしまいましたよ。

よいしょ…

ぎゅ、ぎゅ、ぎゅ、ん、はあ、はあ、ん、

ふふ、可愛いらしい、

お姉ちゃんはその可愛い声をあげられるんですね。

ん、あ、はあ、はあ、はあ…

可愛い／＼もつと絹に声きかせて／＼

はあ、はあ…大好き／＼可愛いですよ。お姉ちゃん／＼

ぎゅ、ぎゅ、ぎゅ。お姉ちゃん…はあはあ

声も仕草も、喘ぎ方も女の子のそれと全く同じなんですわね。

ま、女の子の中で育って、女しか見たことないんだから、
そりやもう、女の子そのものでしょ、うふふ。

はあ、はあ、はあ、

なのに、お姉ちゃんの身体はしつかり反応されている。
このイチモツは絹のこの乳に揉みしだかれて、
はあ、はあ、固く、大きく、立派に、はあはあ、
やっぱり、カラダは…男なんですね〓ひひ…

はあ、はあ…

まるで女性とも殿方ともまぐわっている、
そんな不思議な心地ですよ。はあ、ん、はあ〓

しとやかさも可憐さも、猛々しさもあって…

それを絹のこの胸で包んで…

犯している気分です。ふひひ…

あ、はあ、はあ、んん〓

お姉ちゃんみたいなのは、

日本にもそうはいないでしょ。

ん、ふう、それ、それ…

絹は果報者なんでしょうね、天に感謝せねばなりません。

ふふふ…

ん、んん、はあ、はあ、ぎゅ、ぎゅ、ぎゅ…んっ〓

女はもちろん、男ともまぐわってみたい、

絹は…自分の体がそれを求めているのがわかります…

スケベだと思いいなるかもしれないが、

自分の気持ちに嘘についても仕方ありません…。

じゅ、んん。(つばを垂らす)

こうやってつばを垂らせば

もつとよく滑って気持ちいいですよねえ。

はあ、はあ。

ん、はあ、はあ、んん、はあ、お姉ちゃん、お姉ちゃん〓

気持ちいいですか、絹の胸は、

はあ、はあ、気持ちいいですか？

お姉ちゃんが、いっぱい喘いでいる姿見て、はあはあ、

絹は：嬉しいです。興奮します〱
可愛い：あ、あ、可愛いなあ〱

もつとしごいてあげます。
ん、はあ、はあ、ん…ん。
はあ〱はあ、はあ〱
ほら、見てくださいな。

絹の乳の先端、固くなってそそり立ってますよね？
これは絹が気持ちよくなっているからなんですよ。

はあはあ…んん…
固くなった乳首…これをお姉ちゃんのおちんちんに
こすりつけて…あ、はあん！

はあ、はあ、んん、あ、これ、気持ちいいです〱
はあ、はあ、どうですか？ 固いでしょ？ やらしいでしょ。
ん、あ、あ、あ、乳首は絹のとても敏感な場所なんですよ。

あ…これ…
絹のほうが、気持ちいい〱かも。
ぎゅ、ぎゅ、ぎゅ、ん…
ん、あ、はあ、んん。すりすり、すりすり、
あつ〱気持ちいい、ん、はあ、はあ、

はあ…こんな敏感な場所を
はあ、はあ、自分からお姉ちゃんのモノに、
進んでこすりつけ…這わせて…

ねえ、今すっごいやらしい顔になってるでしょ？
見ていいですよ。絹の顔。

いやらしい、メスの顔してるはずですよ…
見て…お姉ちゃん〱

はあ、はあ、どうですか〱
いやらしい妹は、お嫌いですか？

何か言ってください。

たとえばどう思われても、絹はやめませんよ…。

大好きなんですもの…。

ほら、おっぱい…絹のおっぱいですよ。

はあ、んん、はあ、はあ、すりすり、すりすり、

ああ、乳首、いい／＼固い…

おちんちんで乳首すりすりするの気持ちいよお／＼

はあ、ん、ん、あ、あ、はあ、はあ、

ああ、お姉ちゃんのおちんちんの先端から
透明な液が漏れ出しています…ああ、はあ、はあ。

ね、絹の乳首にドロドロとまとわりついてきますよ。
なんてやらしいんでしょうね…

これ、気持ちいいと出ちゃうやつなんですか？

お姉ちゃん、気持ちいいんですか？

はあはあ。んっ／＼

ねえ…女の子もそうなんですよ、

ほら、絹のここに、大事なところに…

指…いれてみてください。

そう、ここ、そのまま奥に指を伸ばして…触って、

ん、はあ、んあ、

ふふ、どうです？湿ってるでしょ。

ねとねとして…やらしいでしょ？はあ、んん／＼

そのまま這わせて…／＼指で気持ちよくしてください／＼

ん、はあ、ん、はあ、ん、あ、あ、

ふふ…

そんな腫れ物に触るように。

お可愛いです…はあっ〱

ん、あ、あ、お姉ちゃん〱あ、はあ、
ん、あん〱ふう、ふう…

はあ、はあ、いいんですよ。

大丈夫絹はいつももっと激しくいじってます〱

だから…お姉ちゃんが遠慮する必要ないんですよ
もっと激しく、いじって…

^→ここまでささやき〱

んっ！、あ、はあ、んんっ！！そう〱お姉ちゃん〱

あ、ああ、はあ、はあ、いい、いいです！ん、あ、あっ！んん、

ん、はあ、ん、はあ、お姉ちゃんたら。ふふ…。

やっぱり絹に触りたいんじゃないですか〱

はあはあ、ん、んん〱んん〱

…上手、ですよ〱絹が触るより気持ちいい！
気持ちいいんです！もっと触ってほしい〱

はあ、はあ、んん！あ、あ。んんっ！気持ちいい！

んあ、頭がほわほわします…。

あ、ああっ〱んん、あ、あ、んん〱

んん、もっといじって、はあ、はあん、んん〱いい、いいです〱あ、あ、
お姉ちゃんの指でいじられています、

触ってほしかったです〱んあ、んんっ！

誰よりお姉ちゃんに、お姉ちゃんに触ってもらいたかった！

ん、もっといじって〱

もっとおまんこ、なでなでしてほしいよお〱
なでなでして、なでなでしてえ、んん、ああ、そう、んあ、んん
クリトリスいじって、ん、あん！んあ！はあ！
なでなで、なでなでって、んんあ、嬉しい！

お姉ちゃん〱はあはあ〱ん、あ、

お姉ちゃんに撫でられてる！ん、んん〱

嬉しい／＼嬉しい、ん、あ、はあ、
んん、あ、あ、ん、ん、あ、絹も、絹もするっ／＼
はあ、はあ、はあ…

ぎゅ、ぎゅ。ほら、絹の乳も、もっと感じてくださいね。
はあ、はあ…おちんちん、しごいてあげます。

ん、ふう、ふう、あ、んん、固い／＼温かい、
お姉ちゃんのおちんちん固い／＼あ、はあ、んん／＼

はあはあ、絹ももっとお姉ちゃんの
おちんちん気持ちよくしたいよお…はあはあ／＼
なめなめしていいですか？ いいですよね？

ん、ちゅ、ちゅ、んん／＼
ちゅ、ちゅ。

ふふ、先端にキスしてるだけですよ。はあはあ／＼
ほーら、透明な液が糸弾いてます。れろ。んー。苦い。

どうですか？はあはあ…ちゅ、ちゅ…もし不快でなければ、
もっとなめてさしあげます…

んーれろれろ…れろれろ、ふひひ…
舌が糸引いてる…やらしい／＼

お姉ちゃんももっとな絹のおまんこ触ってください／＼
一緒に、気持ちよくなりたい／＼ん、んんあ、あ、
お姉ちゃん、上手／＼あ、はあ、はあ…

おちんちん舐めますね。

先端を…れーろ、れーろ。れろれろ。

ふふ、ここからおしっこが出るんですかね？

れーろ、れろ。れろれろじゅるじゅ。

ん、あ、はあ、指／＼んっ、んん／＼

お姉ちゃん、あ、ああ／＼ん、はあhあ…

負けません、私も…

れーろれーろ、はあ、れろれろ、ん！んんっ、お姉ちゃんっ！
れーろれーろ、れーろれろ、れーろれろ、れーろれろ。

はあ、はら、ほら、見てください。

れろれろ、れろれろ絹の舌先が

お姉ちゃんのおしっこ穴をいじくり回していますよ//ふふ。

んちゅ、ちゅ、ちゆるちゆる…

ここ、めちゃくちゃ敏感なんですね、震え上がってます。うふふ//

お姉ちゃんも、絹のおまんこなでて欲しいな…

ん、あ、んん//ん、いやん//あ、ああ、んん、はあん//

お姉ちゃん//

んー。れーろれろ、れろれろ。

はあはあ、絹の舌が触れては離れて、触れては離れて、ふふ。

もどかしいでしょ。れーろ、れろ。れーろれろ。

びくびく、びくびく。まるで、子馬の足のようですね。ああ、愛おしい//

あ、あん、ん、んん//

お姉ちゃんの指も好きい//いい//、んあ、はあ、んあ、

そうでしょ？はあ、はあ

絹のおまんこ、いやらしいでしょ？んあ！んんっ！

どろどろした液がとめどなく漏れ出してきた、

いやらしいでしょ？あん、あ、あう、はあ、はあ、

ん、あ、ああ、んん//あ、ああ//い、ああ、お、おん//

あ、いきそうです//気持ちいい…

ねえねえ、妹を犯す気分はどんなですか？

いつも姉妹だからと、妹だからと奢めていた子を

我慢せず…いじくるのは、どんな気分ですか？

気持ちいいものでしょう？はあ、はあ、

やめられないでしょ？止まらないでしょ？

続けたいでしょ？

ふふ。

お姉ちゃんがあまりにも可愛いので、
意地悪が言いたくなっただんです。

でも、わたしがして欲しいから、
願望を込めて暗示のように言ってみました。／＼

ちよつと失礼して…よつと。

覆いかぶさってみました。

肌と肌が密着して、触れ合って。ドキドキしますよね。

絹のおっぱいがお姉ちゃんの可愛い胸とキスしてます。

はあ、はあ…

それより…

ほら、ここ、お姉ちゃんのおちんちんの先

絹のおまんこが今にも入ろうという場所にあります…

もどかしいですよね…

今すぐに絹の中に入りたくないじゃないですか？

『おまんこの中って、どんななんだろう。

これをいれたら、さぞ気持ちいいんだろうなあ…

でも、いいのかな？

国が決めた場所以外での交わりは重罪…

万一子供などできてしまった日には、絶対に言い逃れなどできない。

絹には極刑が待っている。』

うふふ…お姉ちゃん…

はあ、はあ、挿れてほしいです…

したいな。お姉ちゃんと…

もう、入り口まで来てます。

もう少しごいたら入っちゃってぐらいのとき…

ね…絹のおまんことお姉ちゃんのおちんちん、

こすり合わせたら、気持ちよさそうじゃないですか？

やってみていいですか？

腰、動かします。

ん、ん、もつと絹のおまんこを感じてください…

ん、あ、んんっ…

はあ、はあ…ずっと一人で悩んでおられたのですよね？

いつかは男だとバレて、国に連れていかれるのではないか？

ん、はあ、はあ、

そうしたら二度と私達家族やお友達にも
会えなくなってしまうんじゃないかって…。

んっ！んっ！んっ！んっ！

そんなことがないように誰にも相談せず、
一人で抱えていたのでしょうか。ん、ああ、はあ。はあ。
キス…キス…したい！！

ちゅ、ちゅ、あむあむ、はあ、はあ、れろれろ。お姉ちゃん！！
お姉ちゃん、しゅき、れろれろ、れろれろれろ…

はあ、はあ、はあ。好き。好き…。

なんとなく誰かの決めた決まりに従って…
生きてたら、ん、あ、はあ、
いつか死ぬとき「これで良かったのかな？」って…
そんなことを考えちゃう気がするんです。

はあ、はあ…

お母さんはどうして…

はあ、はあ…

お姉ちゃんを産んだほんとお母さんも、私達のお母さんも
どうしてお姉ちゃんを国に差し出ささなかつたんだと思います…？
はあ、はあ…んっ！！！！

はあはあ、全部自分で決めたからですよ…。

んっ！！

はあはあ…自分の子どもに自分の人生を生きてほしいから
わずかな希望に託すと決めたから、はあ、はあ。

捨てられている男の子を見て
自分の手で育てると覚悟を決めたから…
ん、あ、はあ、はあ、

今お姉ちゃんはどこにいるんです！
ん、あ、あ、はあ、はあ…

お姉ちゃんはその人の子どもなんですっ！

お母さんたちはは自分がそうしたいから…
自分で決めてそうしたんです！

ん、あ、はあ、んん、おちんちん、また大きく、
ん、あ、んん〱いっぱい擦れてる〱あ、あ〱

お姉ちゃん〱

絹は、お姉ちゃんとエッチがしたいです。

お姉ちゃんは…どうなんですか？

ん、はあ、はあ、ふふ…

大丈夫です。絹はいつでも準備できています。

はあ、はあ…

私たちの行く手を阻むものなんてクソ喰らえます。

それでは…

お姉ちゃんのを挿れますよ。

腰を浮かせて…上から失礼しますね…。

ここに挿れるんですよ…ドキドキしますね。

ん、あ、んん／＼

ほら、絹ですよ。絹のおまんこですよ。

入り口がおちんちんの先に触れますよ。

どうですか？

わ、私ですか？

今からお姉ちゃんとするかと思うと、

気分ルンルンでたまらねえですよ。(少しびびってる)

はあ、はあ、思ったよりおっきいなあ。

じゃあ…その絹で…気持ちよくなってくださいね…

挿れますよ。

あ、ああ…ああ、んん、んん／＼(痛い)

お姉ちゃん／＼ごめんなさい、大丈夫、大丈夫ですよ…

はあ、はあ、はあ…ど、どうですか。半分ぐらい入ってるのかな。

絹の中は、どうですか？狭くてキツキツのおまんこ…

気持ちいいですか…。気持ちよすぎて、もうイキそうですか？

しかも、ほら、絹のおつきいおっぱい、はあ、はあ、

下から見上げるの、すっげえエロくないですか？ふふ。

ひゃん／＼な、なにするんですか？ち、乳首、ひゃ、んん／＼

お姉ちゃん、ああ、ん、あ、

そ、そりゃいじつてくれるほうが、濡れて痛くないかもですけど…
な、なんで急に。

絹が苦しそうだから？

そ、そんなこと言って、ホントはおっぱい、

もみただけでしょ…／＼(照れている)

でも、ありがとうございます…
もつと乳首いじってくださいな//
ん、あ、はあ、はあ…

ゆっくり腰を落としてきます。
ん、あ、ゆっくり、はあ、はあ：
うぐっ…あ、あああ//
ああ、んん、はあ、はあ。

は、入った。全部入りましたよお姉ちゃん
ふう、なんか今日の仕事終えた気分ですよ。

ん、あ、ん、ああ、んん、ちよ、ちよと…//
おもむろに絹の乳を弄（もてあそ）んで、どうしたんですか？

まだ痛そうだからって…
はあ、ん、ん、あ、はあ、
もう、仕方ないなあ。もつと触ってください//
ん、んん、そうです、

その可愛いお手々で、絹の乳をもつといじってください。

ん、ぐ、あ、はあ、んん、お上手です//
もつと気持ちよくしてください、
絹のこと、あ、あ、ん
そしたら、動け…あ//んん、
はあ、はあ、んん、お姉ちゃん…

んん！？ちよ、ちよと…
ひゃ、舌っ、んんあっ！
おっぱいに吸い付いたら、
いや//ん、あ、あ、いや//

おっぱい舐められる！
はあ、はあ、吸い付かれて、んん、
乳首噛まれてます、唇で噛まれて、はあ、はあ、んんあ、
お姉ちゃん//はあはあ。
んんっ！…子宮が、お腹の奥っ、熱い//

ああ、んんっ！ん、ん…ああ、ん、あ、あん…

はあ、はあ不思議な気分です、はあ、はあ、
お姉ちゃんに貫かれて…
おっぱい舐められてるの…
ん、はあ、はあ…んっ〓

絹が想像していたお姉ちゃんとのエッチは…
もっと、いつもみたいなうざ絡みをして、
だらしくエッチをするものだと思っていました。

ん、あ、あ、はあ、んん、
お姉ちゃんは、小さな胸を恥ずかしくて全然見せてくれないから、
じっくり、ねっとり身体のあちこちを触ってあげて…
はあはあ…あんっ〓

私がいじって気持ちよくさせてあげて…
そうするとお姉ちゃん、可愛く、
気持ちよさそうな声をあげてくれて。

あ、ん、んん、もっと舐めて、吸って、んん、はあ、はあ。

絹がエッチなことを教えてあげて、
絹が、絹が、お姉ちゃんにやさしくしてあげたいなって。

なのに、絹のほうが気を使われています〓
初めてだからやさしくしていただいて。
痛いから、優しくれて、舐めていただいて〓
んあ、んんんっ!!好きっ…
やっぱ好き…好きです〓

お姉ちゃんが、はあ、はあ。
優しいお姉ちゃんが、好き…

絹は、絹は…気持ちいです〓
気持ちいですよ、お姉ちゃん〓
いい、あ、はあ、はあ、

早く…動きたいですよね?ぎゅっほぎゅっほしたいですよね?
絹のおまんこの中で動くの、我慢してるんですよ?

大丈夫ですよ。大丈夫です。

動いてください。

お姉ちゃんから動いて？

絹で気持ちよくなってほしい…

お姉ちゃんがしたいこと、自分で決めて、それを自分で叶えてほしいんです。

絹はそれを応援します。

どこまでもついていきます。

どんなときも一緒です。

大丈夫です。お姉ちゃんがいっぱい優しくしてくれたおかげで、絹はもう平気です。だから、ね。

動いてください。

ん、あああつ！！

んっ！んっ！んっ！んっ！

はあ、んん、そう…です…あ、あ、ん、

んっ！んっ！んっ！んっ！

大丈夫、大丈夫ですから。あん〱お姉ちゃん〱

気にせずもつと、うご…ん、ああ、んんっ！あ、はあ、はあ、

ん、あ、ああ！んん、あ

絹は、絹は…気持ちいいですか？はあはあ

小さいおまんこにぎゅぎゅって締め付けられて、はあはあ、

気持ちいいですか？

んあ、ああ、んん、あ、ああ、ん、あん、あん

ふふ…、おっぱい大きくて、ぶるぶる揺れて…

おまんこも…ドドロに、ぬるぬるになって、はあはあ、

妹の味は、どうですか？はあ、はあ…

へへ…絹は、お姉ちゃんが欲しいですから、

はあ、はあ、このままずうーつと離さないですよ。ふふ、

ん、あ、んっ！んっ！つつあああ！

どんなに痛くなくても、お姉ちゃんのこと絶対離さないですよ。

んんん！！あ、ああん〱

ん、あ、ああ！ぐう、あ、あ、んん／＼すごい、
ばん、ばん、ばん、って、お姉ちゃん／＼
ん、んん、大きい。思ったよりずっと、大きい、大きいっ！
固くて大きくて、はあ、はあ、
絹の子宮口に、先端が、こつ、こつって打ち付けてくるの。

はあ、はあ、はあ、お姉ちゃん、気持ちいい？
気持ちいい？絹のおまんこ、気持ちいい？

嬉しい、あ、ああ、もつと、いい、いいですよ。

んあああ！あつ、あつ、あつ、そ、そうです。
もつと激しく動いて、いいんです。

あ、んん／＼んん、あ、あつ、あつ／＼あつ／＼

ほら、絹の腰を掴んでください。

絹の身体、小さいからお姉ちゃん力なら簡単に持ち上げるでしょ？

ん、あ、つ、ああ、んん、そ、そうです、

絹の腰を持ち上げて、おちんちんでいっぱい貫いて、はあはあ、

んっ、んっ、んっ、んん／＼

はん／＼はん／＼はん／＼はん／＼はん／＼

お姉ちゃん、お姉ちゃん／＼好きな、絹のこと、好き？

絹、は…好きだよ。大好きだよっ！

お姉ちゃんが、大好きだから、嬉しい。

女でも、男でも、大好き／＼

どんなに痛くても、お腹の中きつくても、嬉しいよお／＼

ん、あ、んん、んん、お姉ちゃん／＼あん、あん／＼あ、はあはあ、
んっ、んん、お姉ちゃんのおちんちん、好き、好き。

絹のこと、欲しがってくれるの嬉しいよお、

絹に、絹にもつとズボズボして／＼

おちんちん、ズボズボして。

ん、んんっ。いやん／＼あ、あ、

絹のおっぱい、揺れてるの、すごい見られてる。

はあ、はあ、はあ、んん、んあ、んあ

お姉ちゃん、揺れる乳を見て興奮してる？

恥ずかしいけど、もっと見て。

お姉ちゃんに見てもらいたい、見られたいの！
／＼
やらしい姿、お姉ちゃんを思っでぐちゃぐちゃになっでく心も、
んあ、んあ、んん、
全部、全部愛して欲しいよおお。

あ、気持ちいい、いいん、あ、ああ、気持ちいい
はあ、はあ、へへ、お姉ちゃん、お姉ちゃん、もっとして、
もっと、絹のこと愛して！
もっとしよ、もっと
はあ、はあ、んあ、んん！んんああああっ／＼

ああ、いい、いい／＼
絹、気持ちいいよ、お姉ちゃんのおちんちん、すごい。
絹の中で大きくなっでくの、膨らんでくのわかります。
これ、お姉ちゃんが絹に欲情してゐるからなんですよね！？

はあ、はあ、嬉しい。もっと、欲しがっで！
っいで、っいでえ！

あん、あん、あん、あ、ああ、いい、いい！

お姉ちゃん、好き、あ、ああ、頭が、真っ白なの、
熱い、身体、熱い、はあ、はあ、んんあ！ああ！いい、
ん、ああ、激しい。はあはあ、
絹の身体、もっといっばい、いっばい、味わっで。

はん、はん、はん、あん、あん、あん、ああ、
いきそ、いきそ、絹のちっちゃいおまんこ、
もういきそうだよお、あ、あああああ、
お姉ちゃんは、お姉ちゃんは！？

へへ、そうですよね
いっいっでもおかしくないっで顔してますもん。
はあはあ

なら、絹の中で、出してくださいな。
はあ、はあ、知らねえです。
あのことなんて何も知らないです。

んっ、んっ、あ、いく、いきますっ！はん、はん！
お姉ちゃんがするんですっ！

お姉ちゃんが絹を、絹を：気持ちよくするんです！

あ、ああ！んん！はん、一緒に、いきますよ、

一緒に、一緒に、あ、ああ！いく！いきます！

あ、ああ！いい、いく！いく！いくっ！ああ、

はあ、はあん、はあん、我慢しないで、

出してくださいね、絹も、絹も一緒に動きますから、

あん、あん、あん！あん！あん！あん！あん！

いきますよ、お姉ちゃん、お姉ちゃん！

ああ！ああああ！いく、いくいくいく！ああああああ！！

はあ、ああ、はあ、はあ、はあ、はあ、

ふふ、ふふふ、あーあ、なあに、出しちゃってんですか。

どー責任とつてくれんですか、ええ？

ふふ、ふふふ。ほんとにしちゃいましたね。

ありがとうございます。絹を選んでくれて、

絹は、お姉ちゃんについていきますよ。

はあはあ、ふふ。少し休んでいいですか？

ぎゅー。ふふ。

ねえね。意外と大きいでしょ、絹の胸。

はあ、はあ、お姉ちゃんを想って、

毎日一人で触っていたら、こうなっただですよ。はあはあ、

お姉ちゃんは女の人だと思ってたので大きい乳になれば、

好いてもらえるとは思ってませんでした、

でも、お姉ちゃんが男でよかったです。

絹がおちんちんに興奮するように、
お姉ちゃんも絹の乳に、興奮するでしょ。

一人で触っていたのは無駄ではなかったんですね…。
はあ、はあ、んん、あ、そう、遠慮せず揉んでくださいな。

うふふ。可愛いですね。

お姉ちゃん、絹の乳に夢中です。

えい、えいっ。

ほっぺたをはさみこんで、ぎゅー。ふふ。

柔らかいですか？ 幸せですね。

ああ、雨が降ってきましたよ。

ねえ、お姉ちゃん…なんかうざ絡み、したいです。

なんかそうしてつと落ち着くんですよねえ

長年の付き合いつてやつですかね？

こんな挿れたままの体制で、
つて思うかも知れないですが、

絹はだらしないセックスつてのを
やってみたいんです。いいですか？

んふふ。ほーら、お姉ちゃん、
おっぱい、おっぱいですよお。

あーらら、真っ赤になって、
あーんなエッチなこといて、まだ恥ずかしいんですか？

ふふ。可愛いですねえ。
ししし…

ん、ああ〓
乳首を唇でかんで…

んん…はあ、はあ。

ふふ…お姉ちゃんが私に仕返ししてくるのは
なんか珍しい気がしますね。

っ!？ んん〓 ちよ、ちよっと!
いきなり腰動かしたらだめでしょ？

んっんっ、あん〓

そ、そんな気分？はあ…何いつてるんですかねえ。

やりたいだけでしょ、そーなんでしょ。

妹の身体にズボズボしたいだけなんしょ〓？

はあくあくお姉ちゃんも男ですからね。

しかたないですけど、
ま、いゝですよ。

よし、お姉ちゃんはその気なら、付き合っただけです。

ほーら、今度はお姉ちゃんが絹のうえに乗って、
妹にそのおちんちんをグイグイ押し付けなさいな

…ん、ああ、これもなかなか…
ん、あ、あ、おお、お姉ちゃん、おふ、おふ、あ、ああ、
小刻みにそーやって、腰をふられるのは、お、おほほ…あ、あん…
はあ、はあ、へへ、まだ余裕ですよ。

はあ、お姉ちゃんたらいったばかりなのに、もう大きくしてえ。
どーんだけやりたいんですかねえ？
たまってたんですねえ、おかわいそうに、くひひ。

ほーら、いっぱい妹のおまんこ、存分につかってくださいな。
ん、お、おん、おん、ふふふ、気持ちいい…
はあはあ。

ほ・ら、今度は向き合っ…
前からついてごらんなさいな！
あん、あん、あん♪あん、あん、あん（余裕がある感じでうざく）
ふふ、こういうの…楽しいですね。
ん、んあ、はあ、んっ…（感じているが、我慢している）

激しく攻められるのもいいですけど、
身体をくねらせて、抱き合っただけでおちんちんねじ込まれるの
お姉ちゃんをいじりながら、自分の身体の中で繋がってるの…
な〜んか嬉しいなあ、えへへ。ん、あ…

お。動いてる、おちんちんが身体の中動いてる。変な感じですよ。
ふふ、んっ、んん。

気持ちいいよ？ふふ。あっ／＼ん。ふふ。

そんなぐりぐり、絹におちんちん押し付けて…。

そーやってねじるほうが気持ちいいんですね。

なら、絹も腰をぐるぐるしちやおうかな…

ん、ふう、んっ／＼あ、んっ、ぐるぐる、ふふ。

ほら、絹の膣、またきつくなってますよ？

また、いつちゃうんじゃないですか？ねえ、ね。

声だつてほら、そんな可愛い声出しちゃって。

絹のおまんこでいかされちゃうんですねえ

ほらほら、いっぱい締め付けられますよ。

ぐいぐい、ふふ。

ん、はあ、はあ。

ぐりぐり、ぎゅぎゅ、ん、ん。

はあ、はあ。お姉ちゃん…

ねえ…絹は、こんな余裕こいてますが、

ほんとは凄く気持ちいいんですよ。

絹はエッチな子ですからね。

はあ、はあ。

しばらくは、食後でも、ご飯作つてるときでも、
寝る前でも、多分…これからお姉ちゃんのこと
エッチしているときのこと考える気がします。

軽率に、お姉ちゃんのおちんちんを、

いただきにいくと思いますよ。えへへ。

だって、好きなんですもの。嬉しいんですよ／＼

お姉ちゃんのが絹の奥に繋がってる感じ、

お姉ちゃんを食べて、絹のものにしている感じも。

えへへ。ぎゅ、ぎゅ、ぐりぐりー、ぐりぐりー。

んっ、はあ //

あら、あら、えへへ、おねーちゃん、
また絹の中に出しちゃう感じですか？
元気ですねえ、はあ、はあ。

お姉ちゃん、可愛い、絹のお姉ちゃん //
絹も、いきそうです。へへ。
感じてるんですよ。ちゃんと。

恥ずかしいから、ちょっと我慢してただけです //

ん、あ、はあ、はあ //
手を握ってください //

絹をいかせてくださいな。

んっ、あっ、んっ、んん、

ん、あ、はん！はん！はん！はん！

はあ、はあ、

あれ、もしかしてもう出しちゃうんですか、

妹のおまんこに負けて、出しちゃうんですか、
うわあ、だらしなのお姉ちゃんですねえ。

ん、あ、はあ、はあ

しようがないですよね。

だって、このエロい絹の身体に、
お姉ちゃんが耐えられなかったってことで。へへ。

ん、ん、はあ、はあ、ほら、負けてください。

絹の中にだして、あとは

私がイクまで、満足するまでおちんちんを貸してくださいな。

ん、んっ、はあ、くるんですか？くるんですね。
いいですよ、出してくださいな。

はあ、はあ、ん、んっ、ほら、ほら、おっぱいゆれてますよ。
絹の大好きな胸、絹がやらしくこしを振って、はあはあ、

出してください。精子、いっぱい絹の奥に、はあはあ、

妹のやらしい臆の中、ドロドロに、ん、んっ／＼はあ、はあ、
はん！はん！あん、出して！出して！お姉ちゃん！お姉ちゃん！！
はあ、はあ、はあ、はあ、はあ…

あああゝ、出てる出てるなあゝ

ふふ、ほんとに出しちゃってまあ、

ふふ。お姉ちゃん。

先にいつちゃうようならしないお姉ちゃんに、
おしおきですよ。

勝手に、お姉ちゃんのおちんちんを使って
私が気持ちよくなるですよ。

お姉ちゃんは、もう2回も射精したせいで動けないでしょ。
どうぞ寝ていてくださいな。

おちんちん借りますよ？

ふひひ。じゃ、いきますよ。

んっ、んっ／＼

はあ、はあ、んっ／＼

あ、はあ、はあ。

んふふ、お姉ちゃんのおちんちん、固いままですね。
むしろ、大きく、固くなってます？

そんなに、妹が好きなんですかねえ。

ん、ふう、あ、ん、あ、

ん、んっ、ん、あ、はあ、はあ、はあ、いっぱい味わってくださいな。

はん、はん、はん、あん、あん、あん、ああ、

ん、んっ、ん、

はあゝこんなに絹のこと好きなのに、

よく今まで我慢できましたね。

こっちはお預けをくらって、その分寂しい思いしてたんですよ。
はあ、はあ、んっ、んっ。お姉ちゃん？ふふ。わかっていますか？

んっ、んっ。あ、あっ、あん／＼あん／＼
欲しい、ください、

絹だけ、絹だけのお姉ちゃんになって、はあ、はあ。
誰にもわたしません。

ん、あ、あ、ん、んっ／＼
1000人に一人の天子様だとしても、はあはあ、
国が滅びようとも、そんなの知りません！

だってお姉ちゃんは、お姉ちゃんは、
絹を選んでくれたから、はあ、はあ、
んっ、んっ。お姉ちゃんが好きだって言ってくれたから。

んっ、んっ。あ、あっ、あん／＼あん／＼
絹も、絹も好きだからっ！

あ、あん、んん、んん、おちんちん、気持ちいい。
はあ、はあ、お姉ちゃん、いっぱい愛して！

んっ、あ、あん、あん／＼あん、あん、あん、んんっ。
はあ、はあ、絹がいままで寂しい思いしてたおちんちん、
いっぱい慰めてあげます。

絹が、絹が、お姉ちゃんのおちんちん、いっぱい、いっぱい、
ん、あ、あ、んん、可愛そうなおちんちん、
絹の愛で包んで、気持ちよくするんです！

んっ、んっ。あ、あっ、ああ／＼いい／＼
あ、あれ、お姉ちゃん、はあ、はあ、まだ腰をふる余裕あったんですね。
それとも、絹の声で、おまんこで元気になったんですか？

ああ、んん、意地になっただけですか、ふふ。
射精したばかりなんですから、無理しなくていいんですよ。
ん、あ、はあ、んっ、でも、気持ちいいです。

はあ、はあ、お姉ちゃん／＼お姉ちゃん／＼

絹、いいですか？

いい、気持ちよくなっていますか？いきそ…あ…ん／＼

んん、あ、はあ、んんっ、んん、あ、ああ！いく、

あん、あんっ！あん、お姉ちゃん！お姉ちゃん、はあはあ、
頭がまたおかしくなってきたよお、いい。
なんも、なんも、怖くないよ。

お姉ちゃんと絹の二人だけ、はあ、はあ、
わたしとお姉ちゃんだけ、んあ、ん、んっ、ああ！

お姉ちゃん！絹、いくよ！お姉ちゃんのおちんちんで
いかされちゃうんだよ、はあ、はあ、んんっ！あああ！
お姉ちゃん、あ、ああ！、また…ついてくれるの！？

あ、あん、あん、いいんだよ、絹、一人でもいけるよ、
お姉ちゃん、無理しなくていいんだよ。ん、あ、あ、ん、っ、

お姉ちゃん、んあ、うん、うん、はあはあ、でも気持ちいいよお、
気持ちいい、気持ちいい、あ！ああ、ん、んっ、あ、はあ、
いかせてくれるの？はあ、はあ、ん、なら、いかせて、
いっぱい愛して、ん、あ、あ、あああいくう、いく！あ、ああ！
いく、いく！いくう！あああああいくう、いく！あ、ああ！

はあ、はあ、ん、はあ、はあはあ…

ふふ、ああ…お姉ちゃん…ふふ、ふふふふ…

絹…いかされちゃいましたよ。

なんか悔しいなあ、お姉ちゃん先にいかせて、

あとは面白おかしく、お姉ちゃんを味わう予定でしたのに。

はあはあ。ま、いいです。

これからはずーっとエッチなことするんですから。

ね、お姉ちゃん…。

ふふ…。